

会 議 記 録 書

件 名	令和元年度 第2回さむかわ次世代経営者研究会
日 時	令和元年5月27日 18:00～20:20
場 所	寒川町役場 災害対策本部室
出席者	別紙出席者名簿のとおり
議事録	<p>1. 開会</p> <p>2. 事業計画の発表について 高島：自分の会社を良くしなくては意味がないので、ただ発表を聞くのではなく、自分を中心にして事業計画の発表を聞いて自分の会社に活かしてってもらいたい。</p> <p>(1) 大成化光株式会社 代表取締役 大森 明 氏</p> <p style="text-align: center;">～事業計画書に伴い発表～</p> <p>Q. 働き方改革の問題がここに参加している全ての企業で問題になってくると思うのだが、今後は給料を上げて、年休を消化させるなど、人を雇う側としてはかなり辛くなってくると思う。ただ募集しても人は集まってこないと思う。そこで人材確保についてはどう考えているか。</p> <p>A. 今派遣社員を募集して6カ月が経っており、1人来たのだが2日で辞められた。肉体的にきつくて辞められたと思うのだが、時給を上げれば来てくれるのかなと希望としては思っている。ただ、その時給を上げる余裕が今は無いので、人を雇えるくらいの利益をまずは上げたいと思っている。なので、今は自分も現場に入り作業する状況となっている。</p> <p>Q. 酸化チタンに対する法改正の影響がかなり受ける可能性があるとのことだったのだが、最悪の事態を見越して何か対策をとっているのか。</p> <p>A. 最悪の対策として、マスターバッチという固形物を作ってくれる会社があるので、そこに酸化チタンを卸して作ってもらい販売したいと思っている。それか集塵機をいれれば、作業は出来るのだが、自社だけの問題ではなく販売した企業も集塵機を入れ粉塵対策をする必要があるので固形が多く使われる可能性がある。</p> <p>Q. 自社もガラスビーズやアルミの粉をステンレスの品物にショットで打って表面を均一化する作業があり、かなり昔にその作業を隔離することと集塵機を使うよう労働基準監督署から指導があったのだがそのような指導は無いのか。</p> <p>A. 現在も数台は集塵機があるので指導等は受けていない。ただ今の台数では足りないと思っている。 *粉塵に対する法律としては、労働安全衛生法の粉塵障害防止規則で酸化チタンが対象物とされている。</p> <p>Q. 生産と販売する会社が分かれていて、エンドユーザーの声が聞こえてこないとのことだが、直接エンドユーザーに販売することは出来ないのか。</p> <p>A. 直販しないことも無く、直販している会社もある。ただ、自社に営業部隊が無く、営業するとなると会長か私なので、商社にお願いした方が営業もしてくれるため、現在の従業員数を考えるとそちらの方が良い。また、酸化チタンの原料を商社から買って自社で作った酸化チタンを販売してもらっているので関係性から今のままが良いと思っている。</p>

Q. マスターバッチ（固形）を作ってもらえる協力会社が見つかったとのことだが、法改正がされた場合にその協力会社が手一杯になってしまい、仕事を受けられないような事態には陥らないのか。

A. それはあまり無いと思っている。その会社はマスターバッチをメインにしている会社ではなく、会長との繋がりがあるので他の会社の仕事を受けるようなことはないと思っている。それよりは大手企業がマスターバッチを多く作っているのだからそちらの方が脅威だと思っている。

Q. 事業計画の書き方の問題なのだが、強みのところで協力会社との役割分担が強みなのか。それとも取引があることが強みなのか。両方とも強みであれば分けて記載した方が良いと思う。

A. 両方とも強みなので分けて記載する。

Q. 付加価値を上げる取り組みを本気でやらないとだめだと思う。値上げ交渉については、お客様への価値を提供せずに値上げしてもお客様は同意してくれない。

A. 今後付加価値を上げられるよう取り組みを進めていく。

総括：これからやるのが沢山あるのだけれども、動けるのは社長だけだと思う。そのため課題関連図により整理して、行うことの優先順位をつけて取り組むことを決めていった方が良いと思う。

(2) 有限会社 湘南技研
代表取締役 池田 博之 氏

～事業計画書に伴い発表～

Q. アルバックの依存度を下げていきたいとのことでしたが、アルバックと同様のことをしているライバル会社というのはあるのか。

A. 有名な会社では、東京エレクトロンなどがある。

Q. その東京エレクトロンに参入することは出来ないのか。

A. 難しいと思っている。東京エレクトロンはアルバックよりも高い要求を求めてくると聞くし、同じレベルの会社から仕事をもらうには、しっかり参入しないと無理なので、現在の人員では対応できない。

Q. 依存率を下げるためには外部の力を借りていくのか。

A. 外部では無く、官公庁関係の仕事であれば納期も長くなり、最初から協力が出来るので、設計で言えば自分たちのやりたいようにできるので得意なところを出して設計し加工ができるので技術をあげつつ、うまくいけばオリジナル商品にも結び付く可能性があるのだから、そういった形で利益を上げていきたいと思っている。

Q. アルバックグループの仕事というのは、量産品でリピートが多いのか。

A. 量産品はない。あっても10ロットくらい。

Q. アルバックも官公庁も小ロットで変わらないのか。

A. リピートはあるのだが、基本的には小ロットとなっている。

Q. アルバックの仕事は維持しつつ、他の仕事を増やして依存率を下げるためには、作業の効率化が必要だと思うのだが何か取り組む予定があるのか。

A. 生産管理システムを導入し、生産効率を上げたいと思っている。機械が止まっている時間を少しでも有効活用できるようにしたい。

Q. 生産管理を自社で行っていて、今使っている生産管理システムの見直しを考えている。現在アナログでどの日に何の工程をしているのかをネットワーク上で誰もが見えるようにしているのだが、実際にそれを利用するまでのタイムラグだとか、個数を管理するのに安物のスマホを使っていたら壊れ始めてきている。そういった事もありデジタル化にしてバーコードを使い個数管理が出来るなど新しいシステムを検討し今年度中には変えたいと思っている。そこで湘南技研として考えている生産管理システムとはどういったものと考えているのか。

安易に考えているとこれは全然うまくいかないと思う。経験的に出来上がっている生産システムを買っても実際は使えなかったりする。どのようなことをやりたいのかを決めてスタートをしないと厳しいと思う。

高島：生産管理システムについては、相生電子さんがこの会の中で一歩も二歩も進んでいる。なので、合宿の時にでも矢島工場長から相生電子の取り組みについて発表してもらえれば良いと思う。

A. 見積もり依頼から始まって、受注・加工・納品までを一括してシステムにしたいと考えているのだが、実は2年前に生産管理システムを導入したいと思い、コンシェルジュの皆さんに相談して具体的に業者まで紹介してもらい業者選定の寸前までいったのだが、自分一人で理想を追い続けていたため、現場の従業員にシステムについて相談したところ、システム以前にすることがあるのではと指摘され白紙状態になった経緯がある。なのでこれかた従業員も交えて生産管理システムについて検討し、みんなが納得した上で進めていきたいと思っている。

総括：湘南技研の発表の中で皆さんが真似をしてもらいたい所として、同業の廃業という言葉があったのだが、廃業について今年は増える傾向にあるので業態を広げるチャンスもあると思う。あとは、顧客OBの行き先を販路として探していくということも効果があるので見習って欲しい。

全体の事業計画のまとめ方として今までの発表の中で一番良かったと思う。計画の実行者についても誰が行うかまで記載されている。また目標数字についても考えて作られていると思うので、この作り方も真似をして良いと思う。

3. その他

(1) 6月の合宿について

- ・日程については、6月16日（日）～17日（月）とする。
- ・場所は神奈川県いこいの村あしがら
- ・13:00～17:00まで会議室を押さえている。そのため集合時間を11:30とする。
- ・集合場所については、新松田駅付近で昼ご飯を食べられる場所にする。場所については役員で決定し、後日連絡する。
- ・参加費については15,000円とし、足りなくなった場合は会費から補填する。
- ・宿泊者：木村、村田（洋）、池田、大森、青木、岡本、堀川、村田（雄）、高島、若槻 11名
日帰り：矢島、遠藤 2名
欠席：靱山、山口 2名
- ・湘南マシーン菊地社長については後日確認する。

(2) 研究会の会費について

- ・先月の総会で規約改正したとおり、今年度から会費として1人10,000円を徴収する。
- ・本日お配りした請求書により、7月31日（水）までに振り込みをお願いします。

(3) 小規模事業者持続化補助金

- ・5月22日より小規模事業者持続化補助金の募集が始まった。
- ・経営に基づいて実施する販路開拓等の取り組みに対し50蔓延を上限に補助金（補助率：2/3）が出る。

(4) がんばる中小企業の募集について

- ・神奈川県が「がんばる中小企業」を募集している。
- ・要件としては、独自の工夫等を実施し、その後、年率3%以上の付加価値額の増加、年率1%以上の経常利益の増加を実現していることとなっている。
- ・認定された場合は、県のホームページや広報等により企業を紹介してもらえるので、該当する企業については、是非申請してもらいたい。

(5) その他

- ・7月のさむかわ次世代経営者研究会について
日時：7月4日（木）17:30～
場所：町役場2階 災害対策本部室
内容：未定（合宿にて決定する）
- ・ちよい呑みフェスティバルについて
日時：6月5日（水）、6日（木）、7日（金）
会社内で従業員等に周知をお願いします。

以上（終了時間 20:20）